

令和6度 第1回苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

- 【日時】 令和6年7月4日（木）18時00分～19時10分
- 【場所】 市役所5階 第2応接室
- 【出席】 ▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 9名（12名中）
本間会長、中村副会長、石田委員、鈴木委員、中田委員、中村（誠）委員、藤岡委員、
米山委員、林崎委員
▼事務局（市）
・総合政策部：神保まちづくり推進室長
・スポーツ都市推進課：畠山課長、榊田課長補佐、奥井主査、田中主査、
石川主事、寺谷主事、大上主事

～～～議事要旨～～～

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 新任委員及び職員紹介
- 4 議事（進行：本間会長）

以下の質疑・意見について、▽は委員発言、▼は事務局発言

- (1) 苫小牧市スポーツ推進計画施策事業について

- ・スポーツ習慣化促進事業 【資料1】
- ・女性アスリートの健康に関する性教育講座について 【資料2】

※ 事務局から説明

【質疑】

（スポーツ習慣化促進事業について）

▽鈴木委員

プログラムの参加前後に運動機能の測定や分析を実施する点については、素晴らしい。実施にあたっては、年齢や性別などのデータのマッチングが必要であり、専門の先生等に事前に相談したほうが良いと思う。また、1クール30人だと少ないと感じる。

▼畠山課長

会場のキャパ等も含め、今回の人数となった。

▽藤岡委員

2クールともレッドイーグルス北海道が実施するのか。また、働き盛り世代が対象ということは、夜間に実施するのか。

▼畠山課長

そのとおりである。

▽本間会長

アイスホッケーの防具等の経費は、事業費に含まれているのか。

▼畠山課長

含まれている。

(女性アスリートの健康に関する性教育講座について)

▽米山委員

この取り組みは素晴らしいと思う。私が現役の時代では、相談する場や講座がなかった。指導者が男性だと、生理の理解がなかなか得られない部分もあった。選手の中には、生理が止まることが問題だと思わない人もいる。このような取り組みはチームにとってもありがたいと思うので、今後も続けてほしい。

▽本間会長

男性の指導者から、指導者として女性選手の接し方がわからない等、相談がくることがあった。今後は、アイスホッケーに限らず様々な競技で取り組んでいただきたい。

▼神保室長

この取り組みは、今年開催の国民スポーツ大会期間中、競技会場に生理用品を設置し、選手目線でのアンケートを実施したことがきっかけ。アンケート結果として「男性コーチから生理の理解が得られない」等の声があった。指導者に対する理解等も踏まえたいという新たな試みである。

▽中村（誠）委員

今回は、初回ということで対象を女子アイスホッケーに絞ったということだが、バスケットボール協会においても、このような取り組みをはじめており、今後、様々な競技で進めていくことができればと思う。

▽鈴木委員

この取り組みにおいて性教育という表現は趣旨と異なるイメージがある。性教育はどちらかというと思春期における教育。アスリートに対しての言い回しにした方が良いのでは。

▽石田委員

中学校も、性教育である。今回は、アスリートに対する内容を具体的に明記した方が良いと思う。

▽中田委員

最近では祖父母も孫のスポーツを支援するケースが増えている。保護者に限らず支援している多くの人が参加できるような形になれば嬉しい。

▽本間会長

取り組み自体は非常に良いものである。今後は、講座自体の表現方法等について考えていただければと思う。

▼畠山課長

ネーミングや参加者の範囲等については、まずは今回実施したうえで、検討していきたい。

(2) スポーツマスターの候補者選定について

【資料3】

※ 石田委員（検討部会長）から説明

【質疑なし】

(3) 次期苫小牧市スポーツ推進計画の策定について

【資料4-(1)~(4)】

※ 事務局から説明

【質疑】

▽藤岡委員

部活動の地域移行、全中大会の競技削減について。中学生のアイスホッケーに関して、今年度

は全体として人数はいるのだが、ゴールキーパーが3人のため、3チームしかない。そのような中、クラブチームとして、来年度から参加したいといった申し出もある。2027年度には、中学校のアイスホッケーはクラブチーム化になるかと思うが、市の考え方等はいかがか。

▼神保室長

部活動の地域移行について、教育委員会では現在、全競技に関しての説明会を実施している。アイスホッケーに関して、3チームのほかにクラブチームとして参加したいということについては、度外視はできないが、なかなか難しい案件。今後、協議を進めていくことになると思う。

▽本間会長

アイスホッケーは、キーパーの人数によってチームの編成が変わってくる。また、今後、クラブチーム化となり、中体連競技としても廃止となると、大会の名称や経費面等でも変わってくるのかと思う。今後は、競技連盟と中学校等との協議も必要。

野球に関してはいかがか。

▼神保室長

野球に関しては、硬式の場合はクラブチーム。軟式の場合は中学校の部活動で分かれている。高校の部活を目指すうえで、中学生で硬式を選ぶ考え方もある。軟式と硬式では別競技の取り扱いとなる。

▽本間会長

少子化の影響もあり、どの競技も競技人口は減っている状況。選手の維持もチームの維持も強化も必要であり、経費も必要。今後、情報収集をしながら、審議会等でも考えていきたい。

(4) スポーツ都市宣言60周年に向けて

【資料5】

※事務局から説明

【質疑】

▽藤岡委員

e スポーツの考え方についてはいかがか。

▼畠山課長

自治体によってはスポーツ関連以外の部署で所管しているところもある。ゲームメーカーとのやり取りもあるため、要件が異なり難しい部分があると聞いている。道内では旭川市が積極的に実施しているようだが、今後e スポーツの考え方色々変わってくると思う。状況をみながら対応していくことになると思う。

▽鈴木委員

スポーツを「する」という部分には、今回のスポーツ習慣化促進事業も対象となるのか。

▼畠山課長

今、スポーツをしていない人に対して、どれだけスポーツをしてもらえるかという事業であるため、対象となる。

▽林崎委員

パラスポーツの推進について。障がい者スポーツの中には、聴覚障がい者のデフスポーツ、デフリンピックも含まれている。パラスポーツは、聴覚障がい者は対象とならない。次期推進計画については、デフスポーツ、聴覚障がい者が除外されていると思われるような書き方にならないよう配慮してほしい。

▽中村（誠）委員

デフリンピックもスペシャルオリンピックスも別になっている。今後は、一緒になるのかなと思っているが、書き方や表現の仕方というところ。

▽本間会長

分け方や括り、表現については、弊害が起きないようにしてもらいたい。

▽石田委員

スポーツを「知る」というキーワードがメディアでも出てきていたはず。今回の議事のスポーツ習慣化促進事業や女性アスリート性教育講座、デフスポーツ、e スポーツ等、審議会委員は知っているが、多くの市民は知らないことが多い。第3期スポーツ基本計画に移行している中で、「知る」というキーワードは隠れた要素で必要だと思う。その中で、スポーツ習慣化促進事業や女性アスリート性教育講座はプレーヤーの視点ではなく、指導者の視点で考えた方が持続可能だと思う。プレーヤーもいずれ指導者になり、指導者はその後も競技に関わり続ける。違う種目、多種多様な指導者を集めることで、それぞれの考え方を「知る」ことにもなる。

アイスホッケーが衰退しているが、バスケットボールも過去、二つのリーグがあり傾いていた状況にあった。今では世界でも活躍できているが、これは、サッカーを活性化させたチェアマンがバスケットボール協会のチェアマンに就任し、組織改革と指導者改革を行った。アイスホッケーも他競技の組織改革、指導者改革を取り入れ、保護者や行政も含めてやらない限り変わらないと思う。そういう意味で「知る」

ということは、大きなキーワード。苫小牧と同規模の人口 15 万人都市の今治市では、プロスポーツを街で抱えている。同じようにやっている自治体がヒントになれば良いと思う。これも「知る」ということ。

▼島山課長

知るという部分は、非常に重要なことだと思う。色々なヒントを得られることが多い。これからスポーツ都市宣言60周年や推進計画の策定に向けて準備を進めていくが、同規模の自治体や先進地の事例等も調べながら、皆様からご意見をいただければと思う。

▽本間会長

指導者に関しては、それぞれ競技分野の資格や指導講習は行っているが、様々な情報を得ることも必要であり、何かそういう機会を設けるような場があれば良いと感じている。アイスホッケーやサッカー等、違う競技での情報交換をできる場があれば良いと思う。

▽中田委員

スポーツを「つくる/はぐくむ」の中で、大学企業との連携という取り組みがあるが、先日、弊社のイベントで高校生ボランティアを募集したところ、当日は7名のボランティアに協力をいただいた。窓ガラスに絵を描いてくれたり、小さい子たちの傍で声かけもしてくれた。高校の校長先生からは、できればイベントの企画段階から参加をさせてほしいと言われ、高校生も市民の一員として考えてあげることも必要。スポーツも含めてだが、若い世代の子も苫小牧市民の一員という認識を早めに強めて、苫小牧市に力を貸していただければ。大学、高専、高校も一緒になって、担っていただければと思う。

5 その他

※ 事務局から緑ヶ丘公園サッカー場・ラグビー場のネーミングライツについて報告 【資料6】

6 閉会